

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 貝増

会議名: 令和4年度 第2回玉津学区まるごと活性化プラン C プロジェクト会議

日時: 令和5年3月 13日(月) 13 時 30 分から 15 時 10 分まで

場所: 玉津会館1階 会議室1

出席者: 部会員10名、事務局2名

議題

1. 令和5年度の運営場所について

会議要旨

内容

1. 協議事項

(1) 令和5年度の運営場所について

部会員から意見等を伺った。

- ・2か所ではどうか。(トマト、きゅうり、とうもろこしは、ゆうらいふステーション憩いでとか)(鮎ずしは、ゆうらいふで売るとか)(夏場で、日が当たると、悪くなる野菜はゆうらいふで売るとか)

- ・石田自治会の有料のコーヒーの憩いの場を、地域交流スペースではどうか。

- ・いろいろな意見があると思うが、まず、R5年度6月からの開始から少なくとも何回かは、ゆうらいふで行うことを前提に進めていきたい。

- ・物理的に、販売場所であるゆうらいふと受付場所のグラウンドゴルフ場駐車場では距離があり、遠い。野菜を運ぶのに、何回も往復しなければならないし、道路を横断するのに危険もある。

- ・テントなどをゆうらいふ駐車場の奥まで運び、作業するのは非常に負担が大きい。

また、地域交流スペースで、お客さんなどが利用し、交流するなど考えられない。

- ・想像では、軒先がもっと大きくて(現在は2.5Mだが)テントを張る必要もなく、手間がかからないと思っていたが、テントも張る必要があり、野菜も運び、介護事業所の利用者の送迎とバッティングし、危険性もあるので、利用しづらい。

- ・やはり、直売所の受付、販売に至る忙しい準備時間と、ゆうらいふの送迎の時間が重なっており、どういう危険性が実際あるかわからない状態で、実施するのは、非常に危険である。

- ・ゆうらいふで実施することは、完全否定ではないが、メリット、デメリットで考えると、いろいろな意見がでてるようにデメリットの方が多い。

- ・必ず、ゆうらいふでしなければいけない理由があるのか。リスクと不便さを抱えてまでゆうらいふのために、しなければいけないことなのかわからない。

- ・テントを張らなくてよいと思った。すべて軒下で行える十分なスペースがあると思っていた。

結論

・多くの方は、野菜直売所の開設場所は現状のままだとよいとのことであった。（グラウンドゴルフ場駐車場）

・したがって、R 5 年度の第 1 回目（6 月）（6 月 3 日（土））からも今まで通り、グラウンドゴルフ場駐車場で実施する。

ただ、部会員の方でも、ゆうらいふの地域交流スペースを使えるような、アイデアを考えておく。たちまちは、野菜直売所の日の部会員の休憩所や終わった後の報告会などで使うのもよいと思われる。

（2）野菜直売所の検討事項について

・事務局から資料に基づいて説明をした。

検討事項では、意見で、成果の面で、直売所が定着してきており、子連れの若い家族のお客さんが増えてきているのは、地域間交流の点でもよいとあった。

また、生産者側で、いろいろな野菜を抱き合わせて詰め合わせて、売っている方がいるが、買い手側からすると要らない野菜もあるので、できれば、やめた方が買いやすいと思う。

また、部会員から、野菜を出荷している側だが、値段の設定で、現在は 100 円、200 円、500 円だが、100 円と 200 円の幅が大きく、生産者側は、その間くらいの値段を付けたい場合が多くあり、戸惑うときがある。苗代、肥料代なども高騰していることもあり、150 円という新たな値段を設定していただけると、値段を付けやすい。➡部会です承。R 5 年度から実施。（シールは新たな色を設ける。生産者にも別途通知）

また、生産者側が値段設定する時の指標となる市場価格などを用意してもらえると参考になる。

（3）その他

決定事項	開催場所について
次回以降について	次回開催日 5 月 25 日（木） 13 時 30 分から 場所：玉津会館 会議室 1

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 貝増

会議名: 令和4年度 第2回玉津学区まるごと活性化プラン C プロジェクト会議

日時: 令和5年3月 13日(月) 13 時 30 分から 15 時 10 分まで

場所: 玉津会館1階 会議室1

出席者: 林、藤木、北出、和田、岩佐、石田(美)、石田(富)、澤田、松本、堀井、(館長)、(貝増)

議題

1. 令和5年度の運営場所について

会議要旨

内容

1. 協議事項

(1) 令和5年度の運営場所について

部会員から意見等を伺った。

- ・ 2 か所でしてはどうか。(トマト、きゅうり、とうもろこしは、ゆうらいふステーション 憩いでとか) (鮎ずしは、ゆうらいふで売るとか) (夏場で、日が当たると、悪くなる野菜はゆうらいふで売るとか)

- ・ 石田自治会の有料のコーヒーマートの憩いの場を、地域交流スペースでしてはどうか。

- ・ いろいろな意見があると思うが、まず、R5 年度 6 月からの開始から少なくとも何回かは、ゆうらいふで行うことを前提に進めていきたい。

- ・ 物理的に、販売場所であるゆうらいふと受付場所のグラウンドゴルフ場駐車場では距離があり、遠い。野菜を運ぶのに、何回も往復しなければならないし、道路を横断するのに危険もある。

- ・ テントなどをゆうらいふ駐車場の奥まで運び、作業するのは非常に負担が大きい。

また、地域交流スペースで、お客さんなどが利用し、交流するなど考えられない。

- ・ 想像では、軒先がもっと大きくて(現在は 2.5Mだが) テントを張る必要もなく、手間がかからないと思っていたが、テントも張る必要があり、野菜も運び、介護事業所の利用者の送迎とバッティングし、危険性もあるので、利用しづらい。

- ・ やはり、直売所の受付、販売に至る忙しい準備時間と、ゆうらいふの送迎の時間が重なっており、どういう危険性が実際あるかわからない状態で、実施するのは、非常に危険である。

- ・ ゆうらいふで実施することは、完全否定ではないが、メリット、デメリットで考えると、いろいろな意見がでてるようにデメリットの方が多い。

- ・ 必ず、ゆうらいふでしなければいけない理由があるのか。リスクと不便さを抱えてまでそこでしなければいけないことなのかわからない。

- ・ テントを張らなくてよいと思った。すべて軒下で行える十分なスペースがあると思っていた。

結果

・多くの方は、野菜直売所の開設場所は現状のままがよいとのことであった。（グラウンドゴルフ場駐車場）

・したがって、R 5 年度の第 1 回目（6 月）（6 月 3 日（土））からも今まで通り、グラウンドゴルフ場駐車場で実施する。

ただ、部会員の方でも、ゆうらいふの地域交流スペースを使えるような、アイデアや案を考える。当面は、野菜直売所の日の部会員の休憩所や終わった後の報告会などで使うのもよいと思われる。

（2）野菜直売所の検討事項について

・事務局から資料に基づいて説明をした。

検討事項では、意見で、成果の面で、直売所が定着してきており、子連れの若い家族のお客さんが増えてきているのは、地域間交流の点でもよいとあった。

また、生産者側で、いろいろな野菜を抱き合わせて詰め合わせて、売っている方がいるが、買い手側からすると要らない野菜もあるので、できれば、やめた方が買いやすいと思う。

また、部会員から、野菜を出荷している側だが、値段の設定で、現在は 100 円、200 円、500 円だが、100 円と 200 円の幅が大きく、生産者側は、その間くらいの値段を付けたい場合が多くあり、戸惑うときがある。苗代、肥料代なども高騰していることもあり、150 円という新たな値段を設定していただけると、値段を付けやすい。➡部会です承。R 5 年度から実施。（シールは新たな色を設ける。生産者にも別途通知）

また、生産者側が値段設定する時の指標となる市場価格などを用意してもらえると参考になる。

（3）その他

決定事項	開催場所について
次回以降について	開催日 5 月 25 日（木） 13 時 30 分から 場所：玉津会館 会議室 1